

棕櫚の日曜日礼拝順序

2019年4月14日 午前11時 南部チャペル

前奏	鈴木義兄	
頌栄	539	
開会の祈り	Scroggins 由紀牧師	
主の祈り	一同	
讚美	賛美歌23	“くる朝ごとに あさ日とともに”
祈りの時	Scroggins 由紀牧師	
聖書拝読	一同	
	ヨハネによる福音書19章25-30節	
讚美	賛美歌515	“十字架の血に きよめぬれば”
説教	“主イエスのみことば 7” Scroggins 由紀牧師	
讚美	賛美歌517	“わがたましいの したいまつる”
献金	加納幸子姉	
報告		
頌栄	541	
祝祷	Scroggins 由紀牧師	
後奏	鈴木義兄	

(礼拝終了:奉仕開始)

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

光の会 午前9時30分

憩いの場

“与えることの意味”

“与えよ、そうすれば、自分にも与えられるであろう。” (ルカによる福音書6章38節)

以前、うちの教会ではヤードセールをしていた時に、物品の寄付を受けていたことがありましたが、去年からやり方を変えました。というのも、教会のオフィスの外にジャンクのようなものがあふれかえり、処理するのに困ったからだそうです。同じような問題は、JASCのような非営利団体でもあります。日系団体だと多くの人たちが日本人形を寄付されるのですが、あまりたくさんくると、置く場所にも困りますし、一つの場所にいくつも陳列すると派手すぎておかしく見えるので、寄付というのは善意であってもむずかしいものだと思います。

さて、聖書の中には与えよ、そうすれば自分にも与えられるであろう、というみ言葉があり、また、使徒行伝において、パウロは主イエスが、受けるより与えるほうが幸いである、といわれた、といっています。(使徒行伝20章25節) この場合の与える、とは、もちろん寄付も含まれますが、与える、というのは何も物質やお金だけとは限りません。人に感謝を与える、慰めを与える、祈りを与える、総じていうなら、奉仕の精神ともいえるでしょう。そこに幸いがある、と主イエスは教えておられます。

私たちの持っている物質的なものだけでなく、才能、健康、人間関係、すべては与えられているものであり、誇るのではなく、感謝する、そして人と分かち合うことを、主イエスは、与えよ、というシンプルな言葉で言われたのではないのでしょうか。日々の生活の中で、人知れずとも、淡々と与えるとき、その生き方は非常に祝福されているのです。その祝福が私たちとともにありますように、お祈りします。(Scroggins 由紀)

## 記事:消息

—陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron and Donna Barlow 夫妻など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

—先週の日曜日は礼拝後、下竹由美子姉が持ってこられた美味しいフルーツタルトを皆でいただきました。下竹姉に感謝いたします。

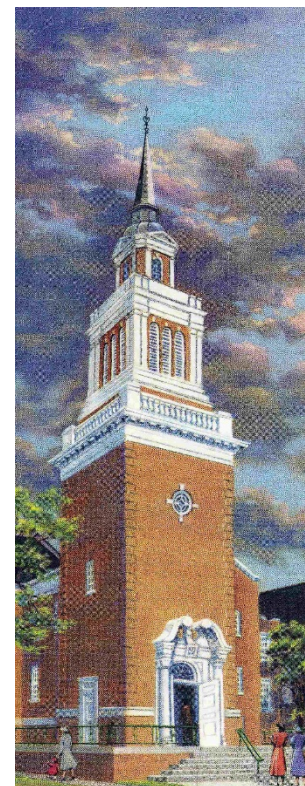
## お知らせ

—毎週日曜日、午前9時30分より、南部チャペルにて、“光の会”と題して朝のさわやかな光の中で、対話と祈りをもって気軽に集う会を設けております。キリスト教に興味がある方、教会をしばらく離れている方、祈りを必要とされている方、どうぞご参加ください。

—4月21日は、午前8時15分より、Howel Hall にて、全教会のイースター朝食会がもたれます。皆さん、どうぞご参加ください。

今週の讃美：El Shaddai

<https://www.youtube.com/watch?v=DuxB1a3NBCw>



# 週報

第3717号

2019年4月14日

---

発行：2019年4月10日ノースショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話：773-728-4200

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640

Phone: 773-728-4200

Web: [www.northshorebaptist.org](http://www.northshorebaptist.org)